

世界自閉症啓発デー in 横浜 2023

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、
4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です。

「世界自閉症啓発デー」は、世界各国で自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めることを目的に、平成19年12月に国連が制定しました。

日本では、厚生労働省が「発達障害啓発週間」を定め、自閉症をはじめとする発達障害について普及啓発を実施しています。横浜市でもこの取組を推進するため、関連イベントを実施します。

■ LIGHT IT UP BLUE 2023 — 横浜を青く照らす —

「癒し・希望・平穏」を表し、世界自閉症啓発デーのシンボルカラーである、ブルーの光で市内の観光スポットなどをライトアップします。

今年は新たに「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA 『動くガンダム』」と「横浜市役所」が加わるほか、改修工事を終えた「横浜マリンタワー」でも3年振りにブルーライトアップを実施します。

【日時】 令和5年4月2日（日）～8日（土） ※会場ごとに点灯時間は異なります。

【場所】

- GUNDAM FACTORY YOKOHAMA 「動くガンダム」
（中区山下町279番25山下ふ頭内）
- 女神橋（西区みなとみらい1-1）
- よこはまコスモワールド
大観覧車「コスモクロック21」
（中区新港2-8-1）
- 横浜ハンマーヘッド（中区新港2-14-1）
- 象の鼻パーク（中区海岸通1）
- 神奈川県庁本庁舎（中区日本大通1）
- 横浜市庁舎（中区本町6-50-10）
- 横浜マリンタワー（中区山下町14-1）※4月2日のみ
- 日産スタジアム（港北区小机町3300）※4月2日のみ



©創通・サンライズ

■ 市立図書館パネル展 — みんなで知ろう発達障害 —

市内の図書館において通常は分野ごとに配架している発達障害に関する書籍の中から、ご紹介したい本を集めて展示・貸出を行います。発達障害の理解に役立つパネル展示もあわせて、ご覧ください。

【日時・会場】

- 令和5年3月21日（火・祝）～4月16日（日）
中央図書館 4階（西区老松町1）
- 令和5年3月28日（火）～4月10日（月）
神奈川図書館（神奈川区立町20-1）
- 令和5年4月12日（水）～25日（火）
鶴見図書館（鶴見区鶴見中央2-10-7）



■ ブルーフラッグの展示（社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 × 一般社団法人横浜市自閉症協会）＜協力＞トレッサ横浜

市内4か所の地域療育センター※と横浜市総合リハビリテーションセンターに通う子どもたちが、シンボルカラーである青色の画用紙を使って作成した、素敵なブルーフラッグを各会場で展示します。個性あふれる作品をぜひ会場でご覧ください。

※地域療育センター：0歳から小学校期までの障害児の療育に関する相談・診療・指導等を行う施設

【日時・会場】

- 令和5年3月30日（木）～4月9日（日）
横浜市庁舎 1階 展示スペースB
（中区本町6-50-10）
- 令和5年3月31日（金）～4月11日（火）
都筑区役所 1階ロビー（都筑区茅ヶ崎中央32-1）
- 令和5年4月1日（土）～12日（水）
トレッサ横浜 南棟3階（港北区師岡町700）



世界自閉症啓発デーをきっかけに、自閉症や発達障害の理解をもっと深めませんか？

横浜市では、一般社団法人横浜市自閉症協会と学校法人岩崎学園との協働により、自閉症の理解啓発を目的とした動画を制作しています。

動画及びその他のイベント情報も、横浜市ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



毎年4/2は 国連の定めた **世界自閉症啓発デー** 発達障害啓発週間 4月2日～8日

みんなたいせつ
こせい とくせい たようせい

SEesame STREET

全国各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

啓発デー #世界自閉症啓発デー

世界自閉症啓発デー in 横浜 検索

本事業は、横浜市（健康福祉局・子ども青少年局・教育委員会事務局）と一般社団法人横浜市自閉症協会※との共催で実施します。

※ 一般社団法人横浜市自閉症協会は、横浜で暮らす自閉スペクトラム症児・者とその家族や支援者等で構成される団体で、自閉症に関する勉強会や相談会、広報啓発活動を行っています。

お問合せ先

（LIGHT IT UP BLUE 及び市立図書館パネル展に関すること）

健康福祉局障害施策推進課長 佐渡 美佐子 Tel 045-671-3569

（ブルーフラッグの展示に関すること）

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール文化事業課長 和田 剛 Tel 045-475-2055